

kintone および試験のアップデートに伴い、本書の出版時点と現状で内容が異なる部分があります。

この表では、現時点の kintone との差分、試験範囲への影響をまとめています。

また、一部記載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

種類：

【前】：本書の出版時の内容

【現】：現時点（2024年7月15日時点）の kintone に搭載されている内容

（誤）：誤りの記述

（正）：正しい記述

試験範囲：

○：試験範囲に該当する

－：試験範囲に該当しない

ページ	種類	差分内容	アップデート	試験範囲
目次		目次 xii～xvi ページに誤りがありました。下記の通り訂正いたします。	※誤りの訂正	○
	（誤）	1-6-2 ファイルからのレコード読み込み 56 第2章 フォームの設定 63		
	（正）	1-6-2 ファイルからのレコード読み込み 56 理解度チェック 62 第2章 フォームの設定 63		
	（誤）	4-4-4 ユーザーがゲストスペースでできる操作 220 第5章 管理者設定 225		
	（正）	4-4-4 ユーザーがゲストスペースでできる操作 220 理解度チェック 223 第5章 管理者設定 225		
	（誤）	5-1-9 組織間のアクセス権 251 理解度チェック 251		
	（正）	5-1-9 組織間のアクセス権 250 5-1-10 プロビジョニング 251 理解度チェック 251		
	（誤）	5-2-3 システムメール 260 5-2-4 ローカライズの設定 261		
	（正）	5-2-3 外部連携 260 5-2-4 システムメール 261 5-2-5 ロケール 261 5-2-6 ログとログインページのカスタマイズ 261		
	（誤）	6-8-2 kintone モバイル 331		
	（正）	6-8-2 モバイルアプリ 331		

ページ	種類	差分内容	アップデート	試験範囲
P.30		1-4-2 一覧の作成	2024 年 7 月	－
	【前】	「カスタマイズ形式」は、kintone スタンダードコースでのみ使用できます。		
	【現】	「カスタマイズ形式」は、kintone ライトコースでは使用できません。		
P.149		3-5 カスタマイズ／サービス連携	2024 年 7 月	－
	【前】	プラグインや JavaScript/CSS、API トークン、Webhook を利用するカスタマイズ/サービス連携は、kintone スタンダードコースでのみ利用できます。		
	【現】	プラグインや JavaScript/CSS、API トークン、Webhook を利用するカスタマイズ/サービス連携は、kintone ライトコースでは利用できません。		
P.150		3-5-1 プラグイン	2024 年 5 月	－
	【前】	kintone システム管理者がインストールしたプラグインのみ、1 つのアプリにつき、20 個まで利用できます（図 3-39）。		
	【現】	kintone システム管理で追加されているプラグインのみ、アプリに追加できます。プラグインを特定のアプリにのみ利用を許可している場合は、該当のアプリの利用が許可されている必要があります。 1 つのアプリにつき、20 個までのプラグインを利用できます（図 3-39）。		
P.168		3-7-4-2 アプリコード	2024 年 5 月	－
	【前】	一度設定すると変更できません。		
	【現】	アプリコードが設定済みの場合は、編集ボタンが表示され、クリックして編集できます。		
P.211		4-3-1 ゲストスペースとは	2024 年 7 月	－
	【前】	ゲストユーザーのコース（ライト、スタンダード）および契約区分（月額、年額）は、kintone 自体の契約と同一にする必要があります。		
	【現】	ゲストユーザーのコース（ライト、スタンダード、ワイド）および契約区分（月額、年額）は、kintone 自体の契約と同一にする必要があります。		
P.254		5-2-1-1 ログインのセキュリティ設定 ポイント ログインのセキュリティ設定で行える設定項目	2024 年 6 月	－
	【現】	「2 要素認証の利用を必須にする」を選択すると、2 要素認証の利用を全ユーザーに強制することができます。		
P.272		5-3-4-1 ゲストユーザー管理	2023 年 9 月	－
	【現】	cybozu.com 共通管理者は、ゲストユーザー管理画面で、ゲストユーザーの一覧を CSV 形式でダウンロードできます。		
P.278		5-3-6-1 JavaScript / CSS でカスタマイズ	2024 年 7 月	－
	【前】	スタンダードコースを利用している場合のみ利用できます。		
	【現】	ライトコースでは利用できません。		

ページ	種類	差分内容	アップデート	試験範囲
P.285		5-3-7-3 プラグイン	2024 年 5 月	－
	【現】	「プラグイン名」の下にある「利用許可の設定」をクリックして、プラグインの利用を許可するアプリを設定できます。		
P.285		5-3-7-3 プラグイン	2024 年 7 月	－
	【前】	プラグインは、スタンダードコースでのみ利用できます。		
	【現】	プラグインは、ライトコースでは利用できません。		
P.316		6-4-1-1 通知の確認方法	2024 年 3 月	－
	【前】	kintone の通知は、次の方法で確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ポータルで確認する ● 「通知」画面で確認する ● メールで確認する ● モバイルアプリでプッシュ通知を確認する 		
	【現】	kintone の通知は、次の方法で確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ポータルで確認する ● 「通知」画面で確認する ● メールで確認する ● モバイルアプリでプッシュ通知を確認する ● デスクトップ通知で確認する <p>デスクトップ通知で確認するには、kintone の個人設定でデスクトップ通知を有効にする必要があります。「6-4-4 デスクトップ通知で確認する」を参照してください。</p>		
P.322		6-4-4 デスクトップ通知で確認する	2024 年 3 月	－
	【現】	「自分宛」通知が届いたときにデスクトップ通知を表示できます。 <p>デスクトップ通知を有効にすると、Web ブラウザーに kintone の画面を開いているタブがある状態で「自分宛」通知を受信した場合、パソコンのデスクトップに通知タイトル、通知メッセージが表示されます。</p> <p>デスクトップ通知を有効にするには、「個人設定」画面でデスクトップ通知を「有効にする」に設定します。 Web ブラウザー、OS の設定で通知を許可する必要があります。</p>		

ページ	種類	差分内容	アップデート	試験範囲
P.329		6-7 kintone の契約内容	2024 年 7 月	ー
	【前】	kintone には、「ライトコース」と「スタンダードコース」があります。		
	【現】	kintone には、「ライトコース」と「スタンダードコース」、「ワイドコース」があります。		
	【前】	API や JavaScript を利用したカスタマイズはスタンダードコースでのみ可能です。API を使って他システムと連携したり、JavaScript やプラグインを使用して kintone をカスタマイズしたりする場合は、スタンダードコースを契約する必要があります。		
	【現】	API や JavaScript を利用したカスタマイズはライトコースでは利用できません。API を使って他システムと連携したり、JavaScript やプラグインを使用して kintone をカスタマイズしたりする場合は、スタンダードコースまたはワイドコースを契約する必要があります。		
	【前】	ライトコース、スタンダードコースについて詳しくは、kintone の公式サイトの「料金」を参照してください。		
	【現】	各コースについて詳しくは、kintone の公式サイトの「料金」を参照してください。		